お客さまの資産形成および資産運用サポートに関する取組み状況

＜ 2024年3月末時点 ＞

Hiroshima Shinkin Bank
街のフレンドリーバンク
広島信用金庫

1. お客さまの多様なニーズにお応えする商品およびサービスの提供

（1） 投資信託・生命保険取扱商品

2024年3月末時点の当金庫における投資信託や生命保険の取扱商品数は、下記の通りです。
なお、当金庫の関連会社から提供を受けている取扱商品はありません。
商品選定にあたっては、商品特性、販売動向、運用実績、ファンド情報会社のレーティングなどを参考としています。
今後もお客さまのご意向や目的に応じて適切な商品をご選択いただけるよう、取扱商品の充実を図ってまいります。

投資信託投資対象別取扱商品数

商品分類	購入可能な商品（店頭・インターネット・投信積立含む）						店頭で購入可能な商品					
			NISAつみたて投資枠		NISA成長投資枠				NISAつみたて投資枠		NISA成長投資枠	
	商品数	割合	商品数	割合	商品数	割合	商品数	割合	商品数	割合	商品数	割合
国内株式	13	13.40%	4	4.12%	8	8.25%	5	9.26%	2	2.06%	3	3.09%
国内外株式	7	7.22%	1	1.03%	6	6.19%	7	12.96%	1	1.03%	6	6.19%
海外株式	22	22.68%	9	9.28%	8	8.25%	14	25.93%	6	6.19%	7	7.22%
国内外債券	8	8.25%	0	0.00%	0	0.00%	4	7.41%	0	0.00%	0	0.00%
海外債券	18	18.56%	0	0.00%	6	6.19%	6	11.11%	0	0.00%	4	4.12%
国内不動産	3	3.09%	0	0.00%	2	2.06%	3	5.56%	0	0.00%	2	2.06%
国内外不動産	5	5.15%	0	0.00%	4	4.12%	4	7.41%	0	0.00%	3	3.09%
バランス	21	21.65%	1	1.03%	11	11.34%	11	20.37%	1	1.03%	9	9.28%
合計	97	100.00%	15	15.46%	45	46.39%	54	100.00%	10	10.31%	34	35.05%

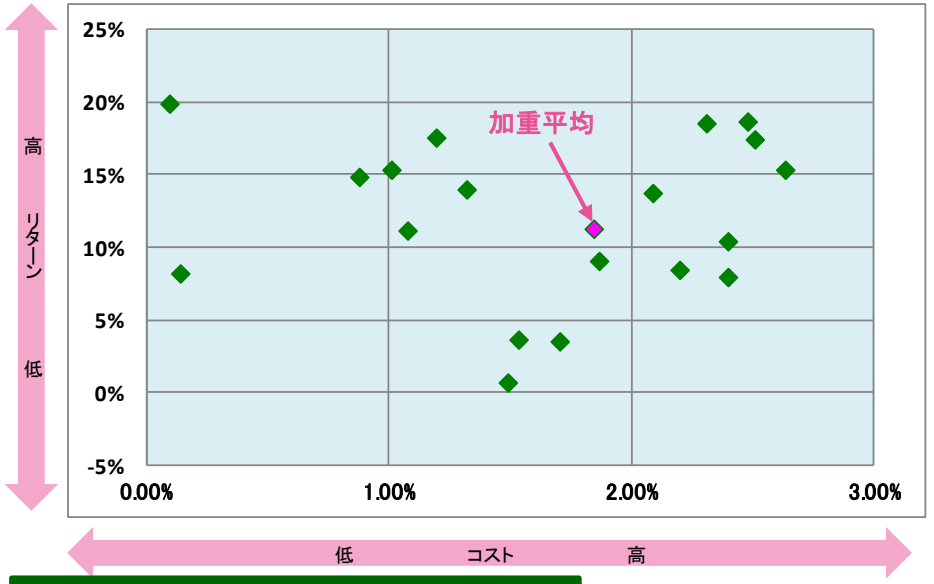
生命保険種類別取扱商品数

商品分類		店頭で購入可能な生命保険商品			
				外貨建生命保険商品	
		商品数	割合	商品数	割合
一時払型	個人年金保険	5	12.50%	5	12.50%
	終身保険	10	25.00%	7	17.50%
平準払型	個人年金保険	3	7.50%	2	5.00%
	終身保険	3	7.50%	0	0.00%
	養老保険	2	5.00%	0	0.00%
	定期保険	6	15.00%	0	0.00%
	医療・がん・保険	7	17.50%	0	0.00%
	介護・その他保険	4	10.00%	0	0.00%
合計	合計	40	100.00%	14	35.00%

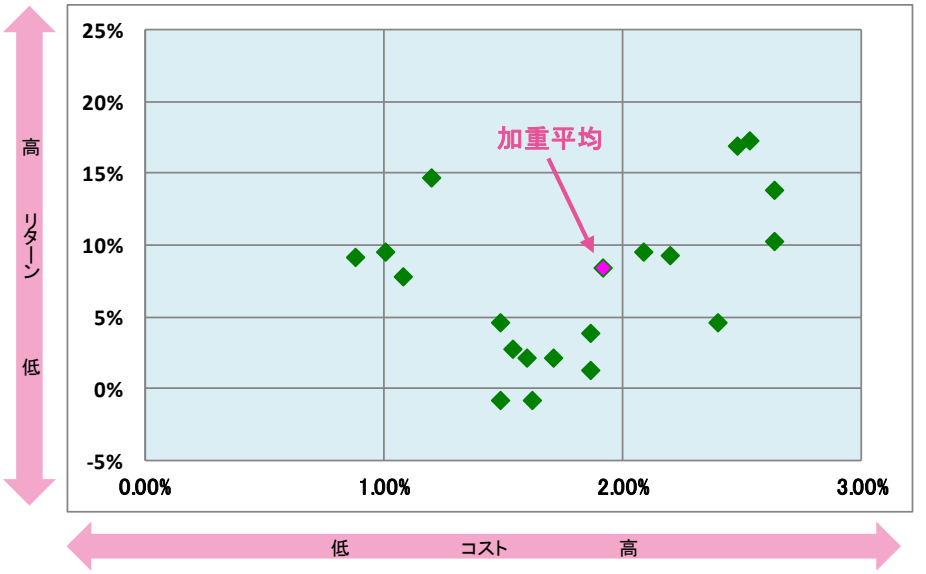
（2）投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン（共通KPI）

設定後60ヵ月以上の投資信託預り資産残高上位20銘柄のコストとリターンの関係を示した指標は、下記の通りです。
2024年3月末時点における平均コストは1.85%（前年比－0.05%）、平均リターンは11.23%（前年比＋4.13%）となりました。

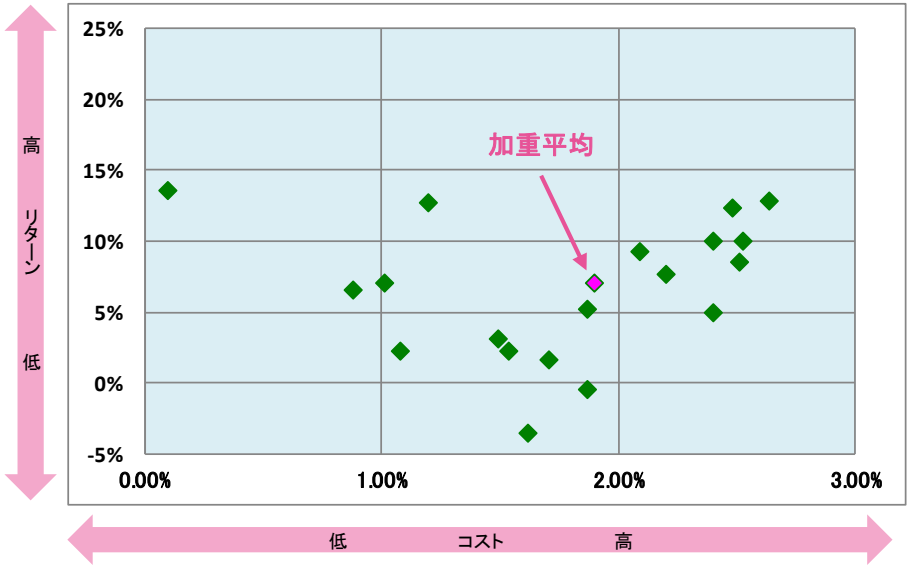
コスト・リターン分布図（2024年3月末時点）



コスト・リターン分布図（2022年3月末時点）



コスト・リターン分布図（2023年3月末時点）



コスト・リターン（加重平均値）の推移

	コスト	リターン
2024年3月末	1.85%	11.23%
2023年3月末	1.90%	7.10%
2022年3月末	1.92%	8.38%

※2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末の各時点で運用期間60ヵ月以上の預り資産残高上位20銘柄を対象として算出

※対象銘柄はDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型を含む

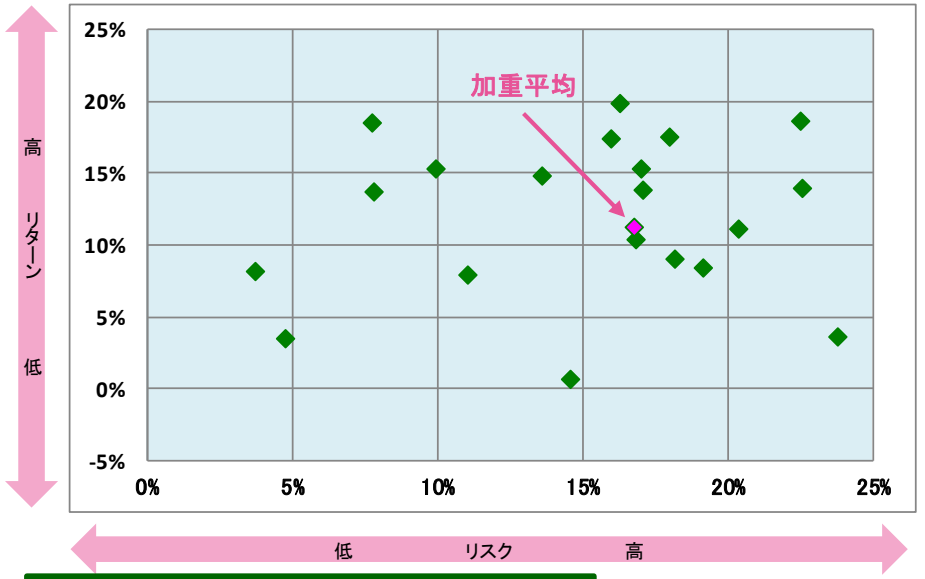
※リターン・リスクは年率換算、コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値

※上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターン・リスクをお約束するものではありません

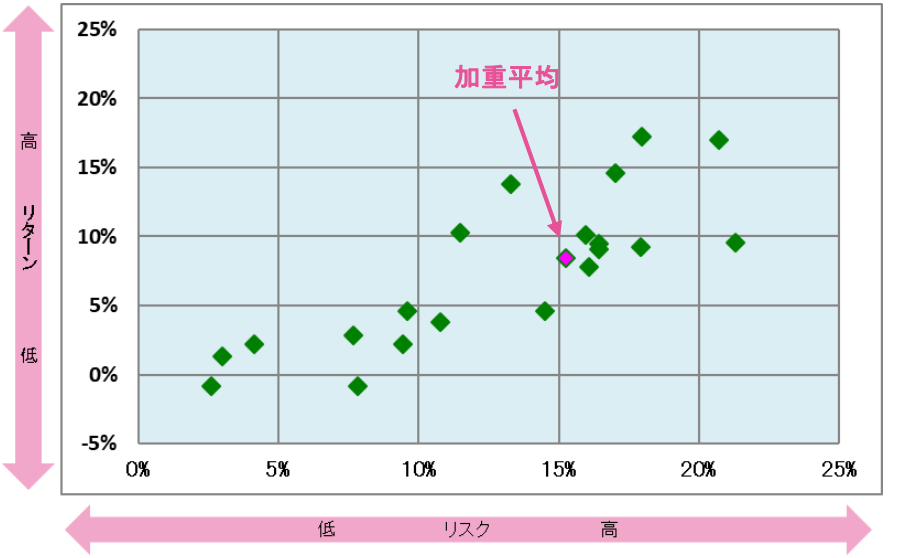
（3）投資信託預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン（共通KPI）

設定後60ヵ月以上の投資信託預り資産残高上位20銘柄のリスクとリターンの関係を示した指標は、下記の通りです。
2024年3月末時点における平均リスクは17.14%（前年比＋0.33%）、平均リターンは11.23%（前年比＋4.13%）となりました。

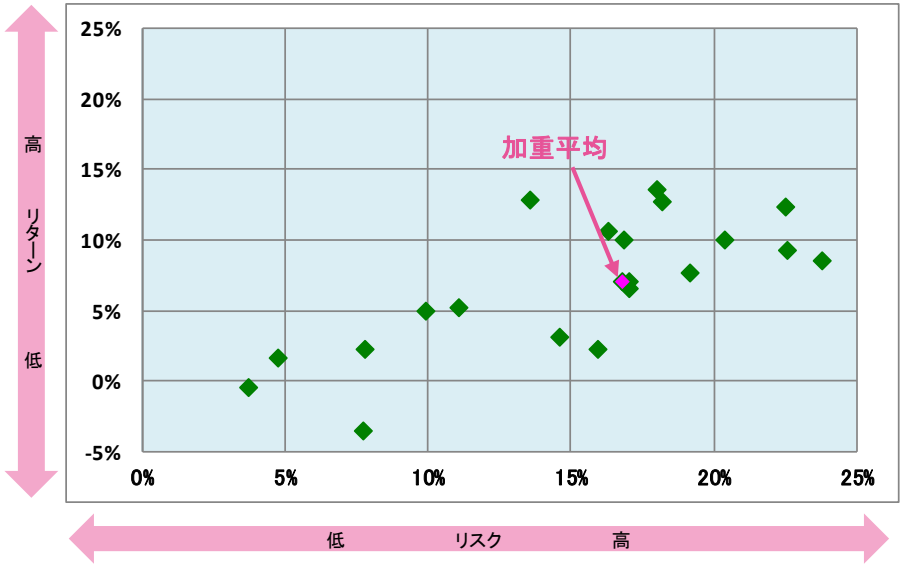
リスク・リターン分布図（2024年3月末時点）



リスク・リターン分布図（2022年3月末時点）



リスク・リターン分布図（2023年3月末時点）



リスク・リターン（加重平均値）の推移

	リスク	リターン
2024年3月末	17.14%	11.23%
2023年3月末	16.81%	7.10%
2022年3月末	15.28%	8.38%

※2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末の各時点で運用期間60ヵ月以上の預り資産残高上位20銘柄を対象として算出

※対象銘柄はDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型を含む

※リターン・リスクは年率換算、コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値

※上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターン・リスクをお約束するものではありません

（4）投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン・リスク

2024年3月末時点の当金庫における設定後60ヵ月以上の投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン・リスクは、下記の通りです。

投資信託残高上位20銘柄（2024年3月末時点）

（残高単位：百万円）

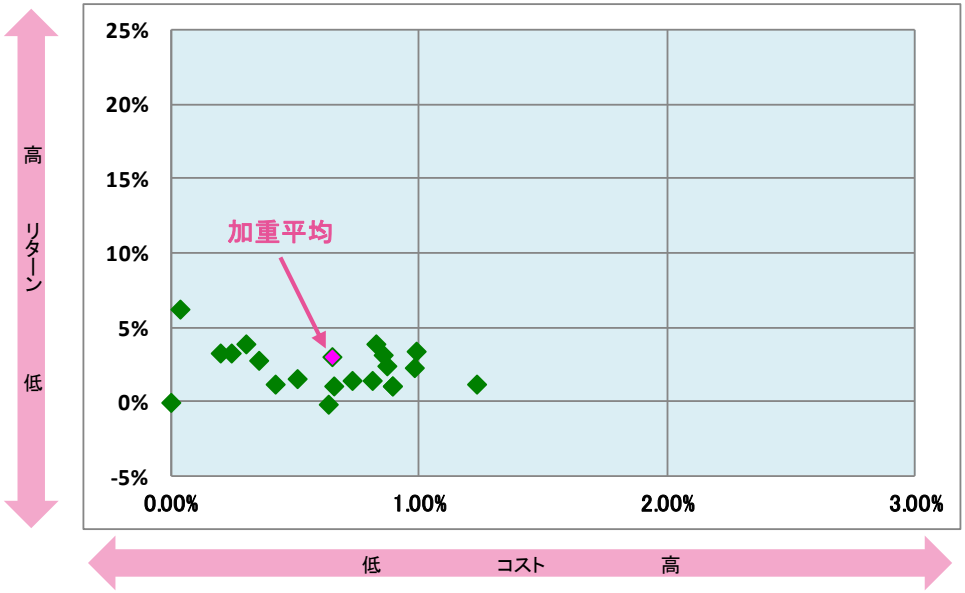
順位	ファンド名	残高	コスト	リターン	リスク
1	しんきんJリートオープン（毎月決算型）	5,282	1.49%	0.65%	14.90%
2	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	5,195	2.20%	8.47%	19.46%
3	ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－	4,716	2.48%	18.63%	22.23%
4	ダイワ・インド株ファンド	1,862	2.51%	17.34%	22.13%
5	たわらノーロード　先進国株式	1,746	0.10%	19.90%	17.20%
6	ひふみプラス	1,356	1.08%	11.06%	14.13%
7	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	1,336	3.08%	13.85%	14.82%
8	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	957	2.40%	7.87%	9.94%
9	SMTAMダウ・ジョーンズ　インデックスファンド	870	1.20%	17.52%	17.24%
10	シュローダー・インカムアセット・アロケーション（毎月決算型）　Aコース（為替ヘッジなし）	843	1.87%	8.97%	11.19%
11	しんきんインデックスファンド225	748	0.88%	14.87%	17.00%
12	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	713	2.31%	18.45%	20.36%
13	インデックスファンド225	704	1.01%	15.33%	17.02%
14	パインブリッジ・グローバル・テクノロジー・インフラ・ファンド	618	2.40%	10.38%	17.19%
15	モルガン・スタンレー　グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	590	2.64%	15.28%	13.12%
16	しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	586	2.09%	13.74%	21.59%
17	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	569	1.71%	3.47%	5.52%
18	たわらノーロード　バランス（8資産均等型）	562	0.14%	8.12%	10.00%
19	しんきん好配当利回り株ファンド	560	1.32%	13.95%	14.72%
20	DIAM高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	556	1.54%	3.64%	8.31%
加重平均			1.85%	11.23%	17.14%

※2024年3月末の時点で運用期間60ヵ月以上の預り資産残高上位20銘柄を対象として算出
※対象銘柄はDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除き、単位型を含む
※リターン・リスクは年率換算、コストは販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値
※上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターン・リスクをお約束するものではありません

（5）外貨建一時払保険預り資産残高保有銘柄（契約開始後60ヵ月以上）のコスト・リターン（共通KPI）

保険契約開始から60ヵ月以上が経過した外貨建一時払保険の預り資産残高とコストとリターンの関係を示した指標は、下記の通りです。
2024年3月末時点における平均コストは0.65%（前年比－0.22%）、平均リターンは3.00%（前年比＋2.23%）となりました。
外貨建一時払保険のリスクについては、商品の特性上算出しておりません。

コスト・リターン分布図（2024年3月末時点）



コスト・リターン（加重平均値）

	コスト	リターン
2024年3月末	0.65%	3.00%
2023年3月末	0.87%	0.77%
2022年3月末	0.90%	1.15%

外貨建一時払保険残高（2024年3月末時点）

（残高単位：百万円）

順位	ファンド名	残高	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ（外貨建）	3,947	0.83%	3.81%
2	しあわせ、ずっと	2,500	0.82%	1.43%
3	ロングドリームGOLD2	1,451	0.04%	6.25%
4	ふるはーとJロードグローバル	1,177	0.31%	3.84%
5	えがお、ひろがる	563	0.90%	1.01%
6	モンターニュ	440	0.25%	3.20%
7	プレミアジャンプ	432	0.42%	1.15%
8	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	413	1.24%	1.11%
9	やさしさ、つなぐ	385	0.63%	−0.24%
10	プレミアカレンシー・プラス2	377	0.86%	3.11%
11	しあわせ、ずっとNZ	191	0.89%	1.07%
12	おおきな、まごころ	174	0.99%	3.35%
13	ロングドリームGOLD	162	0.73%	1.36%
14	ロングドリームプラス	114	0.00%	−0.11%
15	アテナ	92	0.20%	3.18%
16	モンターニュ2	79	0.36%	2.70%
17	デュアルドリーム	72	0.99%	2.27%
18	やさしさ、つなぐ	67	0.87%	2.43%
19	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	64	0.51%	1.55%
20	プレミアカレンシー・プラス	47	0.66%	0.97%
加重平均		12,747	0.65%	3.00%

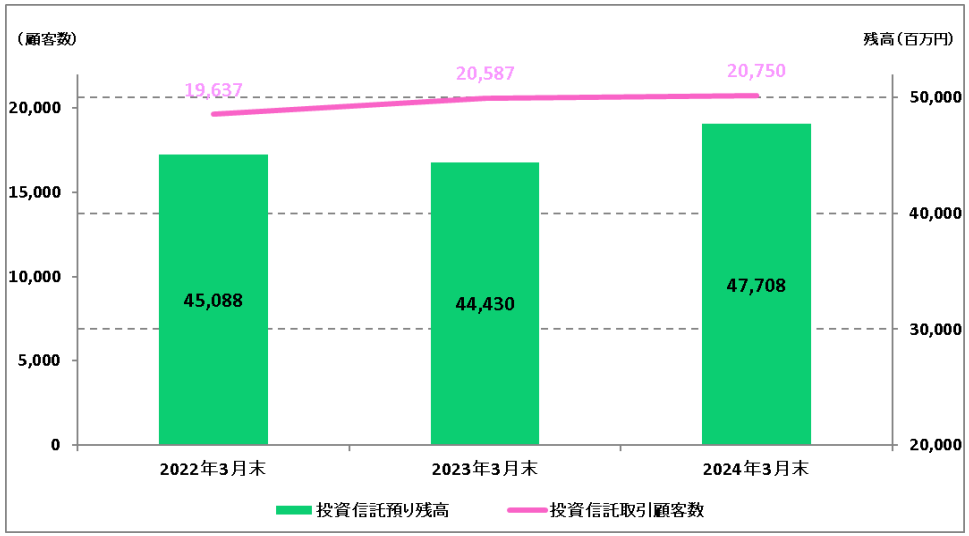
※2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末の時点で保険契約開始から60ヵ月以上が経過し、契約が存続している外貨建一時払保険20銘柄を対象として算出
※外貨建平準払保険や医療保障・介護保障・特定疾病保障等の生前給付の保障が組み込まれている銘柄は、対象外とする
※コスト算出にあたり、個別契約ごとに適用される手数料率を特定することが困難なため、各銘柄ごとに保険会社が算出して提供する新契約手数料率及び継続手数料率の平均値を一律に適用して算出
※各契約のリターン率については、（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額－契約時点の一時払保険料）÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算し、各契約のリターン率を各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出（全て円換算ベース）
※上記数値等はあくまでも過去の実績であり、将来のコスト・リターンをお約束するものではありません

2. お客さまに対する情報提供およびコンサルティングの実施

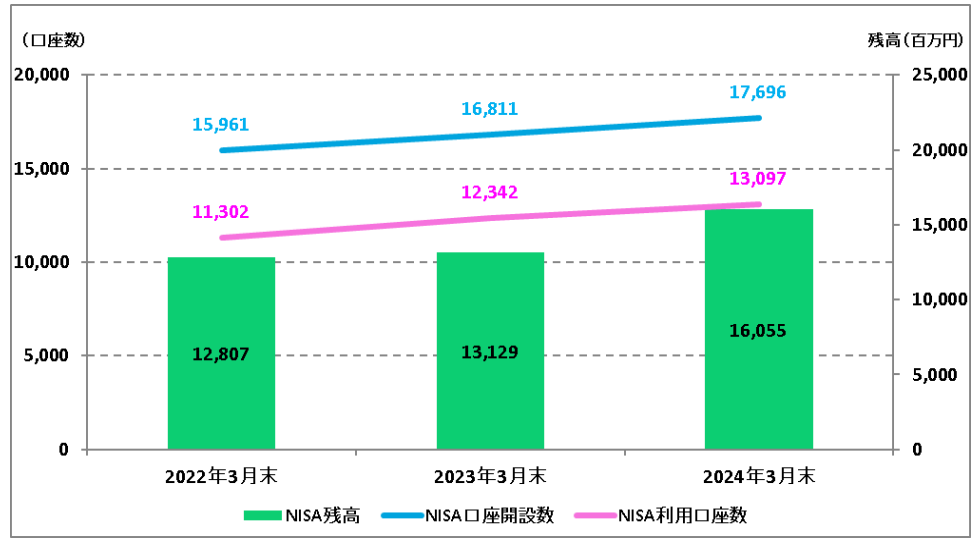
（1） 投資信託ならびにNISAのご提案状況（2024年3月末時点）

投資信託の取引顧客数は20,750先（前年比＋163先）、預り資産残高は47,708百万円（前年比＋3,278百万円）となりました。
投信積立契約数は、17,911件（前年比＋2,639件）、投信積立の2024年3月の月間買付額は、277,877千円（前年比＋60,439千円）、
うち“ＮＩＳＡつみたて投資枠（旧つみたてＮＩＳＡ）”の月間買付額は、179,212千円（前年比＋96,673千円）となりました。
ＮＩＳＡ口座の利用口座数は13,097口座（前年比＋755口座）、預り資産残高は、16,055百万円（前年比＋2,926百万円）となりました。
2023年4月～2024年3月の間における投資信託販売上位10銘柄は、下記の通りです。

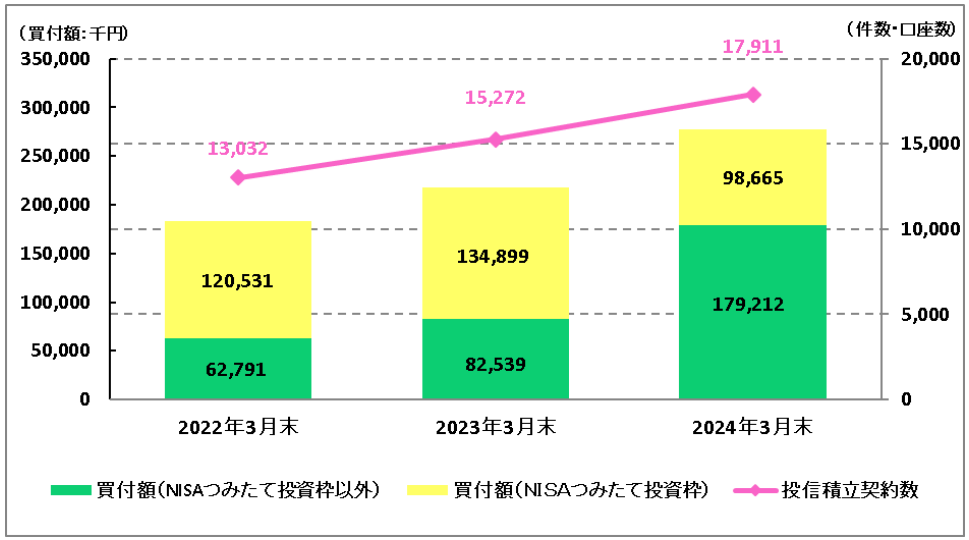
投資信託取引顧客数・預り残高の推移



NISA残高・口座数・利用口座数



投信積立口座数・月間買付額



投資信託販売額上位10銘柄（2023年4月～2024年3月）

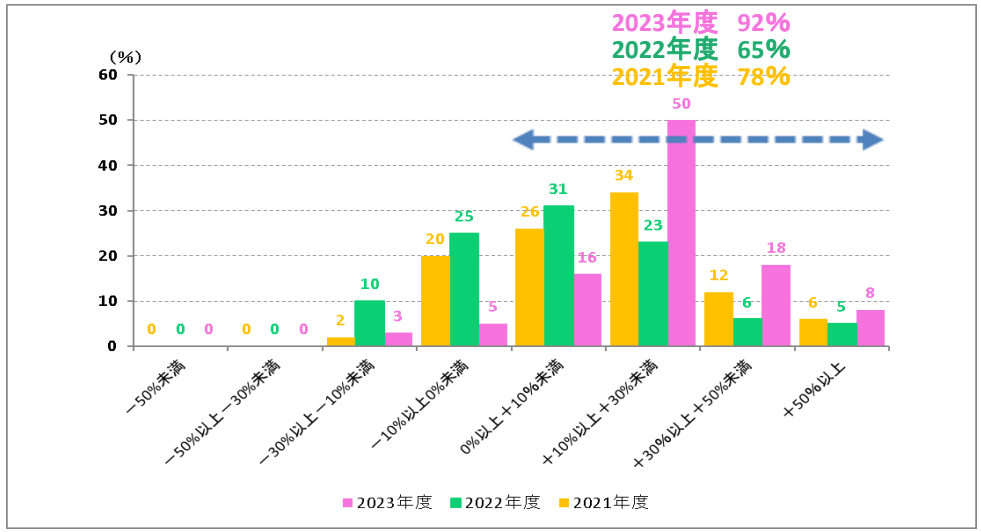
（販売額単位：百万円）

No.	商品名	運用会社（略称）	投資対象分類	毎月分配型	販売件数	販売額	割合
1	しんきんインデックスファンド225	しんきん	国内株式		3,743	2,832	15.9%
2	しんきんS＆P500インデックスファンド	しんきん	海外株式		5,039	1,389	7.8%
3	ダイワ・インド株ファンド	大和	海外株式		785	1,379	7.7%
4	ロボット・テクノロジー関連株ファンド―ロボテック―	大和	国内外株式		22,738	1,161	6.5%
5	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2023-07	あおぞら	バランス		524	904	5.1%
6	たわらノーロード 先進国株式	AM-ONE	海外株式		4,597	524	2.9%
7	インデックスファンド225	日興	国内株式		6,220	520	2.9%
8	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	三菱UFJ	国内外株式		4,926	491	2.8%
9	インデックスファンドNASDAQ100（アメリカ株式）	日興	海外株式		28,805	426	2.4%
10	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	野村	海外債券	○	5,444	360	2.0%
投資信託全商品の合計					194,754	17,826	100.0%

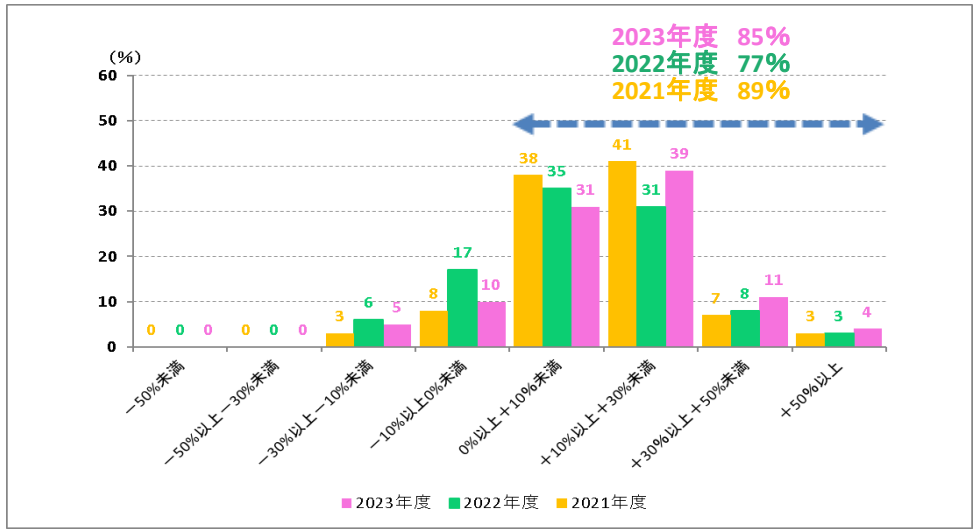
（2） 投資信託・外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率（共通KPI）・運用損益別顧客比率

2024年3月末時点で運用評価額（保有ベース）がプラスのお客さまの比率は、投資信託が92%（前年比＋27%）、外貨建一時払保険が70%（前年比＋38%）となりました。
また、2023年4月～2024年3月の間における運用評価額（解約ベース）がプラスのお客さまの比率は、投資信託が85%（前年比＋8%）、外貨建一時払保険が96%（前年比±0%）となりました。
今後も引き続き、お客さまの資産形成のお役にたてる提案に努めてまいります。

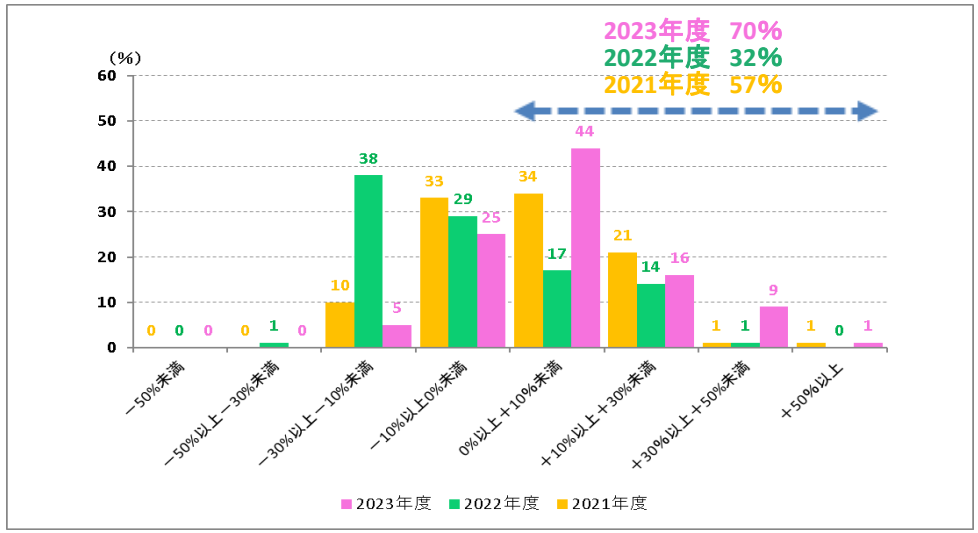
運用評価別顧客比率（投資信託保有ベース） ※共通KPI



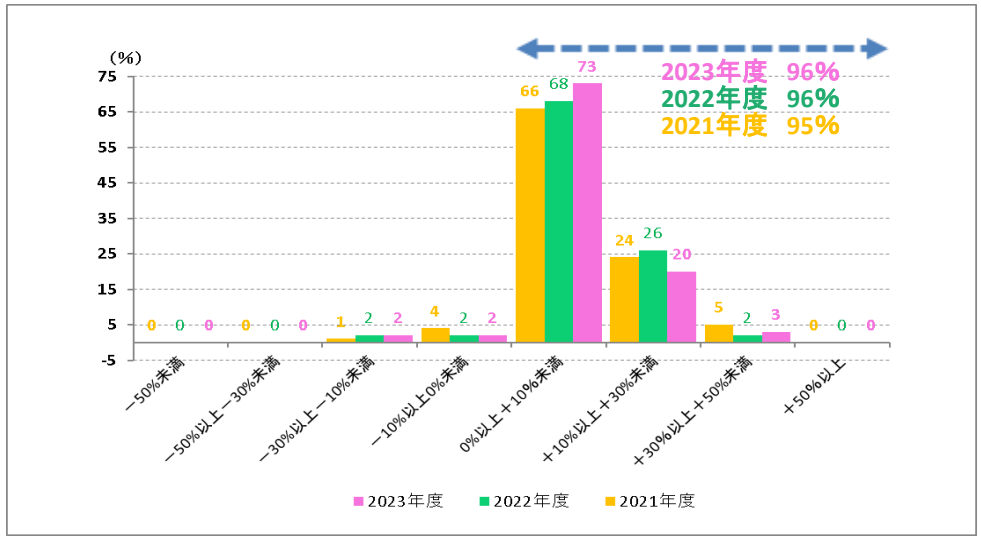
運用評価別顧客比率（投資信託2023年4月～2024年3月解約ベース）



運用評価別顧客比率（外貨建一時払保険保有ベース） ※共通KPI



運用評価別顧客比率（外貨建一払保険2023年4月～2024年3月解約ベース）



（3）顧客セミナー・アフターフォローの取組み状況

2023年度は、オンラインで「資産運用セミナー」を5回開催し、298名のお客さまに参加いただきました。
また、当金庫の取引事業先において対面による「職域資産運用セミナー」を24回開催し、延べ233名のお客さまに参加いただきました。
2023年度におけるアフターフォロー実施状況は、実施先数が24,881先（前年比＋1,356先）、実施回数が91,404回（前年比－18,696回）でした。ダイレクトメールの発送件数を減らしたことにより、実施回数が減少となりました。

資産運用顧客セミナーの実施状況

資産運用顧客セミナー	2021年度	2022年度	2023年度
開催回数	6回	8回	29回
参加者数	274名	275名	531名

※ 2023年度 「資産運用セミナー」の内訳 ・・・ 「オンラインセミナー」5回 参加者298名 、「職域セミナー」24回 参加者233名

投資信託保有者等へのアフターフォロー実施状況

アフターフォロー実施状況		2021年度		2022年度		2023年度	
		回数	割合	回数	割合	回数	割合
アフターフォロー実施先数		19,916	―	23,525	―	24,881	―
アフターフォロー実施回数		121,323	100.0%	110,100	100.0%	91,404	100.0%
実施方法	電話連絡	70,314	58.0%	66,492	60.4%	65,381	71.5%
	訪問	3,143	2.6%	2,880	2.6%	2,432	2.7%
	来店誘致	13,225	10.9%	12,196	11.1%	12,979	14.2%
	ダイレクトメール発送	34,641	28.6%	28,532	25.9%	10,612	11.6%

3. お客さま本位の営業活動に向けた態勢整備

（1）販売担当者の資質向上への取組み状況

2024年3月末時点における当金庫職員のＦＰ資格取得者数（ＣＦＰ、ＡＦＰ含む）は、合計で719人です。
当金庫は、所定の研修課程を修了した預り資産担当者を投資信託取扱店に配属しています。
2024年3月末時点における預り資産担当者は76人で、平均業務経験年数は5.9年、配属状況は下記の通りです。
預り資産担当者には、市場動向やコンサルティングなどに関する研修を継続的に実施し、資質向上に取組んでいます

FP資格取得者数

	FP1級	FP2級	FP3級	合計
資格取得者数	35人	427人	257人	719人

預り資産担当者と人数

預り資産担当者の名称	担当職務	人数
MP（マネープランナー）	ローカウンターで相談業務を担当する預り資産専担者	39人
MA（マネーアドバイザー）	ハイカウンターでの窓口業務とローカウンターでの相談業務を担当する預り資産担当者	37人
預り資産担当者合計		76人

投資信託取扱店おける預り資産担当者配属状況

	MP・MA配属	MP配属	MA配属	MP・MA配属なし	合計
店舗数	10店舗	29店舗	29店舗	5店舗	73店舗

※　預り資産担当者が配属されていない店舗のうち3店舗は、預り資産担当者が配属されている店舗の店舗内店舗です。

※　預り資産担当者が配属されていない残り2店舗にも、証券外務員有資格者は在籍しています。

（2）お客さま本位の営業活動の定着と実践に向けたその他の取組みについて

当金庫は、お客さま本位の営業活動の定着と実践を促すため、下記の取組みを行っています。

①「しんきん預り資産ナビ」の活用

当金庫は、資産運用提案時に信用金庫業界の共同システムである「しんきん預り資産ナビ」を活用しています。
「しんきん預り資産ナビ」は、お客さまの意向に沿った最適な商品を選択・提案する機能、申込書類をシステム作成する機能、販売担当者の提案や説明が適正だったかどうかモニタリングできる機能、などを備えています。
2023年度10月に生命保険も「しんきん預り資産ナビ」で提案できるよう機能を追加し、申込手続をペーパレス化しました。
今後も「しんきん預り資産ナビ」の活用を通じ、お客さまの意向に沿った最適な商品提案に取り組んでまいります。

②「重要情報シート」の導入

当金庫は、資産運用提案時に金融商品・サービスの販売・推奨などに係る重要な情報をお客さまに分かりやすくお伝えするため、「重要情報シート」を導入しております。従来の投資信託に加え、2024年度4月より外貨建保険についても「重要情報シートを導入し、お客さまにとって分かりやすい資産運用提案に努めてまいります。

③お客さまの課題解決に向けた取組み

当金庫は、金融サービスを通じてお客さまの課題を解決する営業活動を業績評価に反映させています。
また、課題解決を通じてお客さまに喜んでいただいた事例を庫内で報告・発表する機会を設けており、役職員間で共有することで、お客さま本位の営業活動の定着に努めています。

【参考】「お客さまの資産形成および資産運用サポートに関する取組み状況」の「顧客本位の業務運営に関する原則（金融庁公表）」への対応状況

金融庁公表「顧客本位の業務運営に関する原則」への対比表

１．お客さまの多様なニーズにお応えする商品およびサービスの提供	原則（金融庁公表）
（１）投資信託・生命保険取扱商品	２、３、６
（２）投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン（共通ＫＰＩ）	２、４、６
（３）投資信託預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン（共通ＫＰＩ）	２、６
（４）投資信託預り資産残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン	２、４、６
（５）外貨建一時払保険預り資産残高保有銘柄（契約開始後60ヵ月以上）のコスト・リターン（共通ＫＰＩ）	２、４、６
２．お客さまに対する情報提供およびコンサルティングの実施	**原則（金融庁公表）**
（１）投資信託ならびにNISAのご提案状況（2024年3月末現在）	２、６
（２）投資信託・外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率（共通ＫＰＩ）・運用損益別顧客比率	２、６
（３）顧客セミナー・アフターフォローの取組み状況	６
３．お客さま本位の営業活動に向けた態勢整備	**原則（金融庁公表）**
（１）販売担当者の資質向上への取組み状況	２，５、６、７
（２）お客さま本位の営業活動の定着と実践に向けたその他の取組みについて	―
①「しんきん預り資産ナビ」の活用	２、３、４、５、６、７
②「重要情報シート」の導入	４、５、６、７
③お客さまの課題解決に向けた取組み	２、６、７

金融庁公表「顧客本位の業務運営に関する原則」

原則１	顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等	原則５	重要な情報の分かりやすい提供
原則２	顧客の最善の利益の追求	原則６	顧客にふさわしいサービスの提供
原則３	利益相反の適切な管理	原則７	従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
原則４	手数料等の明確化		